

第2学年 外国語科学習指導案

単元名：LESSON6 My Dream

本単元で育成する資質・能力：思考力・判断力・表現力

- 1 日 時 : 平成29年11月17日(金) 第5校時
- 2 学年・学級 : 第2学年2組(男子18名 女子21名 計39名)
- 3 単元名 : LESSON6 My Dream (New Crown Series 2)
- 4 単元について

(1) 単元観

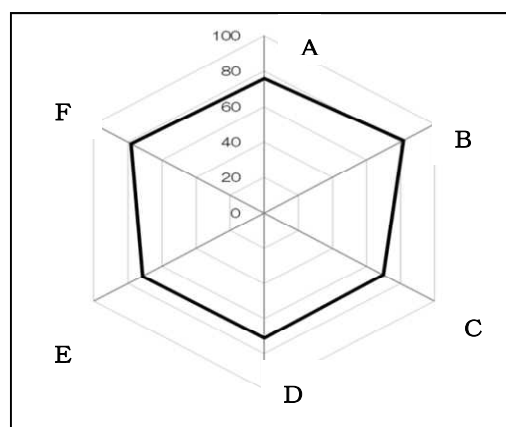
本単元は、健とエマが職業体験プログラムに向けて希望する事業所や職種について話したり、実際に体験した後にその感想について意見を交換し合い、異文化に触れ、考えを深めるというストーリーである。夏休みに実際に職場体験学習を行った生徒達にとっては比較的身近な話題であり、文構造やストーリーの内容を理解しやすい単元である。Project2では自分の夢を紹介するために物事を順序だてて読み手に分かりやすいよう文を組み立てる表現や構造を学習することができる。この教材を通して、生徒たちは様々な職業や文化について英語で学ぶことができ、相手に分かりやすく自身の考えや思いを伝えるために必要な情報を的確にまとめる練習をすることができる。

また、本単元ではこれまでに学んできた接続詞 and, or, when, that, because, if などのつなぐ言葉を用いながら、ある程度まとまりのあるスピーチ原稿を作成することもできる。このことは、学習指導要領2内容(1)言語活動イ「話すこと」の(オ)「与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。」と、エ「書くこと」の(オ)「自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。」の指導事項に当てはまる。

(2) 生徒観

5月に実施した三原・二中版アクティブ・ラーニング自己評価調査では、右図(右図：A主体性：B協調性：C創造力：D思考力・判断力・表現力：E課題発見・解決力：F自己理解)のような結果が出ている。A主体性・B協調性が比較的高く、自己を前向きに捉え客観的に分析する力や、英語活動等を通して他者との協働性は育っている。一方、捉えた課題解決に向けて自ら選択し行動するというステップには至っていない。この結果を受けて、本単元では、英語を用いた表現活動に焦点をおいた授業を展開し、思考力・判断力・表現力を育成していきたい。

また、平成29年度「基礎・基本」定着状況調査での、本学年の生徒の課題は、次の通りである。



項目番号	内 容	肯定評価
英語 2	リスニング問題（英語での問いかけに対する適切な応答）	33.0%
英語 23	自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話す	24.1%

この結果から、英語活動を通して英語を適切に聞き取ったり自分の考えが相手に分かるように英語で伝えたりすることで、思考し判断したことを表現につなぐ授業を展開していきたい。

（3）指導観

本学年では、1月に予定されている修学旅行に向けて、総合的な学習の時間を中心に「観光大使として三原をPRする」活動に取り組んでいる。その中で、三原について多面的に分析したり、自分たちの育ってきた郷土を調査したりして探究し思考を深めている。そこで、総合的な学習の時間との関連を図り「三原の観光大使として、三原を英語で魅力的にPRする」ことを本時の目標として設定する。本時の目標に対する課題として、実際の広告を引用し、魅力的な広告の秘密について考えるという活動を設定する。その活動で出た要素をもとに、郷土の何をどのように紹介することが効果的なのか生徒に発見させ、英語で魅力的に表現できるよう考えさせたい。

具体的には、三原市を紹介するために作成した英文での広告を見せ、魅力的と感じる理由を探っていく。

本単元では主に「まとまりのある文章を読み取ること」と「文と文のつながりに注意して、まとまりのある文を書くこと」にアプローチして、指導を進めていく。

本時は自己表現活動（班活動）の時間になるので、生徒に、語と語のつながりに注意して正しく文を書いたり、相手に分かるような表現で書いたり話したりするよう伝える。指導にあたっては、次のような手立てを行う。

①基礎・基本の定着

- ・毎時間帯活動として行っている conversation sheet や1分間チャット等を用いて本時で扱う単元と関連させたトピックを提示し、生徒が取り組みやすいよう配慮する。

②指導に関わる工夫

- ・単語を繰り返し口に出して練習し、音を確認した後に、書く活動に入る。
- ・構成的なグループワークにして、活動がスムーズに行われるようにする。
- ・グループワーク内で出た意見や考え、英語での言い回しは必ずメモを取らせて、仲間の発表を聞く必然性を持たせる。
- ・語と語のつながりに注意して正しい文を書くことを意識させ、生徒同士で確認し合うなどさせる。また生徒の中で良い例が出たら提示し、全体で共有する。

5 単元の目標

○英語で書かれた広告や説明文を読み，内容を読み取り，その工夫点を考えまとめること。

【中学校学習指導要領 言語活動 ウ 読むこと (オ)】

○文と文のつながりなどに注意して不定詞をつなぎ言葉に用いた文章を書くこと。

【中学校学習指導要領 言語活動 エ 書くこと (オ)】

6 単元の評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 外国語表現の能力	ウ. 外国語理解の能力	エ. 言語や文化についての知識・理解
①読み手が理解しやすくなるように書いたり，書き直したりしている。	①情報を整理してまとまりよく話すことができる。 ②内容的にまとまりのある文章を書くことができる。	①まとまりのある英語を読んで，全体の概要や内容の要点を適切に聞き取ることができる。	①不定詞に関する知識を身につけている。 ②接続詞やつなぎ言葉を効果的に活用できる。

7 本単元において育成しようとする資質能力とのかかわり

本校で育成しようとする資質・能力は次の6点。

〈スキル〉 ①創造力 ②課題発見・解決力 ③思考力・判断力・表現力

〈意欲・態度〉 ④主体性 ⑤協調性

〈価値観・倫理観〉 ⑥自己理解

本単元での重点：単元の目標との関連を図り，思考力・判断力・表現力とする。

8 本単元で育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
思考力・判断力・表現力	A 文と文のつながりに注意して情報を整理し，不定詞を効果的に活用してまとまりのある文章を書いている。 B 語と語のつながりに注意して，不定詞を活用した文を書いている。 C 語と語のつながりを意識して，不定詞を用いた文を書いている。

9 指導と評価の計画（全9時間）（本時は8/9）

次	学習内容（時数）	主な学習内容				評価方法	
		関	表	理	知		評 価 規 準
1	GET Part1 課題の設定 不定詞の導入 【名詞用法】 (1)				○	・語句や表現，文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。エ①	ワークシート 単元テスト
	GET Part1 情報の収集 本文の内容理解 (1)			○		・あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。ウ①	定期テスト
2	GET Part2 不定詞の導入 【副詞用法，形容詞用法】 (1)				○	・不定詞の用法に関する知識を身につけている。エ①	小テスト 定期テスト
	GET Part2 本文の内容理解 (1)			○		・あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。ウ①	定期テスト
3	USE Read 本文の内容理解 (2)			○		・あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。ウ①	単元テスト
4	Project2 整理・分析 三原について情報を集め，英語でPRできるよう準備する。(1)	○				・語句や表現，文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。ア① エ②	ノート
4	Project2 本時 まとめ・創造・表現 三原観光大使として三原を世界にPR（紹介）するチラシを作る。(1)		◎	○		・まとまりのある英語を書いて，全体の概要や内容の要点を適切に表すことができる。イ② ウ②	ワークシート 定期テスト
5	単元のまとめ まとめ・創造・表 ふりかえり スピーチをする上で留意すべき点に気を付けて三原をPRするミニプレゼンをする。(1)		○			・聞き手に伝わりやすいよう気を付けてスピーチをすることができる。イ①	行動観察 発表 定期テスト

10 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・分かりやすいと感じるポスターや広告とはどんなものなのか考え、要素を抽出する。
- ・グループ内で情報を共有し、協力してまとめる。

(2) 観点別評価規準

- ◎ 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。【イ 外国語表現の能力】

評価方法：ワークシート

(3) 準備物 ワークシート・電子黒板

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点 (■) (配慮を要する生徒への支援◆)	評価規準 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (☆) (評価方法)
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ Greeting ○ 日付確認 ○ 前時の確認 ○ 本時の目標の提示 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学習規律を身につけさせる。 ■ 仲間内での取組を深め、意識づけをさせる。 ◆ 細かく発音の確認をする。 	
展開	<p style="text-align: center;">課題の設定</p> <p style="text-align: center;">魅力的な広告の謎を探ろう</p> <p style="text-align: center;">本時の目標：三原の観光大使として、三原の魅力を伝えるチラシを作ろう。</p>		
	<p>○ 帯活動（1分間チャット）（3分）</p> <p style="padding-left: 20px;">Topic: My favorite place of Mihara</p> <p style="text-align: center;">情報の収集</p> <p style="text-align: center;">Writing 1</p> <p>1, 2種類の広告を提示する。(2分)</p> <p>2, 魅力的と感じる方を選び、その理由を考える。(7分)</p> <p>3, ペアで意見を交換する。(3分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ワードカウンターを用い、二人一組で活動に取り組む。 ◆ 英語での表現が難しければ、I want to Vの文で繰り返し自己表現をする。 ■ ワークシートに書きこみ、見える化する。 ◆ シェアリングの段階で、いい意見だと思ったら赤で自分のワークシートに書きこむよう指示する。 	<p>☆ 思考力・判断力・表現力 (行動観察) (作品)</p>

	<p>4, 全体あるいはグループで意見をシェアする。(5分)</p> <p>整理・分析 Writing 2</p> <p>1, カテゴリー別のグループに分かれ, 魅力的な広告の要素を整理する。(5分)</p> <p>2, それらを盛り込んで, 魅力的なチラシを作成する。(15分)</p>	<p>◆自身が知っている知識について積極的に意見できる雰囲気を醸成する。</p> <p>■一人一人が役割を持って活動に参加できるよう小集団活動内での役割を固定化する。</p>	
ま と め	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>○ 振り返りシートに新しい発見やもっと調べてみたいことを記入する。</p> <p>ふりかえり</p> <p>○ 振り返りシート, ワークシート提出</p>	<p>■不定詞を用いた invitation の文を一文作り, まとめとする。</p>	
<p>魅力的なPRの要素を掴み, それに従って実際に作成したチラシを自己評価できる。</p>			

(5) 板書計画

<p>Today's Topic</p> <p>Friday November 17 cloudy</p>	<p>本時の目標：三原の観光大使として, 三原の魅力を伝えるチラシを作ろう。</p> <p>魅力的な広告の謎を探ろう！</p> <p>不定詞活用場面例文</p> <p>魅力的なチラシとは？ 気付き</p> <p>カテゴリー確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ festival 祭り ・ folk craft 民芸品 ・ food 食 ・ spot1 スポット (文化) ・ spot2 スポット (自然) ・ history 歴史
---	---

【英語 生徒配布ルーブリック表】

○目的：学習成果を自己評価するためのものです。レベルAを目標に頑張りましょう。

つけた いカ	1. 態度	2. 語と語のつながりを意識して書く	3. 文と文のつながりを意識して書く	4. 構成
カ の レ ベル	三原の魅力を英語で伝えることについて、関心を持ち考えようとしている。	英語を正しく書くために、正しい語順を意識し、語と語のつながりを適切にして書いている。	英文を正しく書くために、文と文のつながりを意識し、不定詞を用いて書いている。	三原の魅力を英語で効果的に伝えるために、相手にわかりやすく文章を構成している。
レ ベル A	三原の魅力を英語で伝えることについて、関心を持ち積極的に考えようとしている。	英語を正しく書くために、正しい語順を意識し、読み手にわかりやすいよう語と語のつながりを適切にして書いている。	英文を正しく書くために、文と文のつながりを意識し、不定詞を用いて文の構造を意識して書いている。	三原の魅力を英語で効果的に伝えるために、順序立てて相手にわかりやすく文章を構成している。
レ ベル B	三原の魅力を英語で伝えることについて、関心を持ち考えようとしている。	英語を正しく書くために、正しい語順を意識し、語と語のつながりを適切にして書いている。	英文を正しく書くために、文と文のつながりを意識し、不定詞を用いて書いている。	三原の魅力を英語で伝えるために、相手にわかりやすく文章を構成している。
レ ベル C	三原の魅力を英語で伝えることについて、関心を持たず考えようとしていない。	語と語のつながりを意識して英文を書いていない。	文と文のつながりを意識して英文を書いていない。	三原の魅力を英語で伝えるための文章を構成していない。

*レベルCを1点、レベルBを2点、レベルAを3点として自己採点してみよう。

- 1 態度 () 点。
- 2 語と語のつながりを意識して書く () 点
- 3 文と文のつながりを意識して書く () 点
- 4 構成 () 点

/12

*レベルCがあったら、次にはもっと努力してレベルB以上をめざそう！

身に付けた力は
反省点は